

茂みに分け入る

釜ヶ崎までふと腰おろして

コールド編

二月三日、

野宿している人たちへのパトロール。

時間は九時、気温は六度。

先頭を行く人の「わっしょい」に続いて、

後ろを歩く人たちも小さく

「わっしょい」と声を出す。

にぎやかさはない。

低い、かみしめるような声。

朝を待つ人たちの前を、

お弁当やカイロを載せたリヤカーが進む。

今回のコトノネ観光課は

「釜ヶ崎の越冬ツアー」一泊三日。

釜ヶ崎は、どんな町なんだろう。